

オレンジ通信 Vol.12

ささき 佐々木まゆみ市議会活動レポート

2015年11月発行

発行元／仙台市議会公明党市議団 仙台市議会議員佐々木まゆみ

仙台市宮城野区幸町2-21-11 TEL022-707-7462 メールアドレス sasaki@sendai-komei.jp



ささき 佐々木まゆみ2期目スタート!

「小さな声にも全力で」をモットーに安心して暮らせる街づくりに全力で取り組みます。

落ち葉が舞う季節となり、銀杏の木も美しい黄色に染まりました。

季節は秋から初冬に移りはじめております。

平成27年第3回定例会が10月23日終了しました。おかげさまで公明党仙台市議団も1議席増え9人でのスタートとなりました。

改選後初の議会と言うことで、私も初心を忘れず決意も新たに臨ませて頂きました。今定例会は決算等審査特別委員会もあり、私も質問に立たせて頂きました(中面に記載)。

また委員会等の体制も決まり、私は常任委員会では経済環境委員会に、調査特別委員会では防災・減災推進調査特別委員会に所属し、市政の様々な課題に積極的に取り組んで参ります。

東日本大震災から4年8ヶ月が過ぎました。

本年9月には関東東北豪雨が発生し、県内でも大きな爪あとを残し、またしても自然災害の脅威を知らされる事態となりました。東日本大震災の教訓が活かされたのか、新たな課題も浮き彫りになっております。どこまでも被災された方々に寄り添い続けることを改めて決意しました。

そして、災害に強い街づくり、皆様が安心して暮らせる街づくりのため、これからも「小さな声にも全力で」働いて参ります!

仙台市議会議員

佐々木まゆみ

ささき 佐々木まゆみのプロフィール

昭和39年7月仙台市生まれ。

平成23年仙台市議会議員初当選(宮城野選挙区)。現在2期目。

【仙台市議会】経済環境委員会。防災・減災推進調査特別委員会。

【公明党】宮城野西支部長。

平成27年度 第三回定例会決算等審査特別委員会



人工内耳にかかる費用を、広く助成の 対象にすべきだ! 平成27年10月13日

聴覚障がい者支援について

【佐々木まゆみ議員】人工内耳は、側頭部に聴覚補助器具を埋める手術で内耳の蝸牛に細い電極を埋め込み、聴神経を電氣的に刺激して、それを脳に伝え聴覚を取り戻すという画期的な医療である。本市において治療・手術の際「障がい者自立支援医療制度」を利用された方はどの位いらっしゃるのか。

【健康福祉局長】平成26年度、聴覚・平衡機能障害に関する治療のために入院し、障がい者自立支援医療の給付を受けた方の数は12件となっている。

【佐々木まゆみ議員】この人工内耳の埋め込み手術、費用は総額約400万円。平成6年4月から保険適用となったが、スピーチプロセッサ(聴覚補助器具)は約120万円もする。装用を継続するにあたり、電池・消耗品・補助援助システム用機器・新型機への買い替え・機器の修理等、多大な金銭的負担が大きい。緊急用に2台目を購入される方もいらっしゃる。

こうした状況から、本市として買い替えに対する助成制度を行っている自治体の状況をどう把握されているのか。将来の不安を解消でき得る明確な補助制度の拡充と取り組みが必要と考えるがどうか。

【健康福祉局長】政令指定都市では、ボタン電池については、静岡市・浜松市・岡山市・熊本市の4市。スピーチプロセッサについては、静岡市において買い替えの費用の助成を行っている。

これらの自治体の補助制度の例では、日常生活用具給付事業の給付種目として多くのところが見られる。

本市においても日常生活用具の給付種目については、毎年、様々な要望が寄せられていることから、ニーズや効果等を勘案しながら、追加種目について検討して参りたい。

ひとり親家庭支援について

【佐々木まゆみ議員】厚生労働省は今年4月から、ひとり親家庭の支援の一環として、親の学び直しをサポートする事業を新たに始めた。具体的には、中学卒業や高校中退の親で、高校卒業程度認定試験(旧大検)合格を目指している人に対し、通信講座を含めた受講費用の最大6割(上限15万円)を補助するもの。貧困の連鎖を断ち切り、より良い条件で就職や転職を行うためには、高校卒業と同程度の学力が必要で、正規雇用にも結び付けることができる。この、親の学び直しをサポートする事業の認識と導入について伺う。

【子供未来局長】今年度から国が開始した補助事業「高等学校卒業程度認定試験合格支援事業」について。経済的に困窮する一人親の方にとっては、生活をしていく事自体容易ではなく、学習に時間を割くことは、難しい事であると思われるが、学び直しに対する強い意欲を持つ方を支援する上では、委員ご指摘の国の新規事業は有効なものと認識している。ひとり親家庭の自立に向けた就業支援のため、国の補助事業の枠組みを活用することについても、今後検討して参りたい。

【佐々木まゆみ議員】本市としても、相談窓口や経済的自立支援など、さまざまな支援をしているが、市民の方にとっては、どこに相談すればいいのか分からない方や、インターネットを使う環境にない方も多い。ひとり親家庭の状況や課題にあった支援をするためにも広報・周知が大事だと思うがどうか。

【子供未来部長】市では様々な福祉制度についてまとめた冊子「ひとり親サポートブック・うえるびい」を作成し、各区窓口等で配布をしている。今後も、ひとり親家庭等の支援を行っているNPO等と連携を強化し、支援制度の認知度を高める取り組みを進めて参りたい。

児童生徒のため、地域の皆さんのためにも1日も早くトイレの改修を!

平成27年10月19日

学校施設の長寿命化対策・トイレの改修について

【佐々木まゆみ議員】本市は「仙台市公共施設総合マネジメントプラン」を昨年2月に策定した。本市公共施設のうち、建築物については学校教育施設が最も多く全体の約4割を占めている。今後の学校施設の長寿命化対策におけるトイレの改修についての計画はどうなっているか。

【学校施設課長】学校施設についても、長寿命化対策を速やかに実施する必要があると考える。その中でトイレの改修についても、年に3校程度という改修ペースで、施設改修の際にともに取り組みべき課題と考えている。

【佐々木まゆみ議員】学校トイレの洋式化について。年次計画を始めた平成17年からの改修実績の学校数と、過去3年間の決算額はどうなっているか。

【学校施設課長】学校トイレの大規模改修については小学校12校、中学校6校となっている。

年度別決算額は、H24年度4,814万円。H25年度1億6,385万円。H26年度247万円となっている。

【佐々木まゆみ議員】決算年度時点での市内の小中学校のトイレの洋式化率は何パーセントになっているのか。

【学校施設課長】H26年度末時点で小学校が26%、中学校が22%となっている。

【佐々木まゆみ議員】大幅に計画が遅れている中、市内の小中学校のトイレの改修をするには、想定すらできない期間が必要と考えられるが、東京都世田谷区、葛飾区、神奈川県横浜市、川崎市等では、財源問題を抱える中、トイレの改修を優先的に行っている。しっかりと計画をたて推進してもらいたい。学校側から、トイレ改修を進めて欲しいとの声はあるか。

【学校施設課長】学校からは年度当初の進入学児童・生徒の状況に対応するために、個別のトイレの改修要望を受けている。市PTA協議会からは、学校のトイレ全体の洋式化を早期に進める事について要望を頂いている。

【佐々木まゆみ議員】トイレ改修にあたり現場の声を吸い上げはどのようにされているのか。

【学校施設課長】設計に入る前に、改修の対象となっている学校の全校児童・生徒に対し、洋式が良いか和式が良いかなどのアンケートを実施し、併せて学校側の意見も求めながら、現場の要望を設計に反映させている。

【佐々木まゆみ議員】学校側や当局側も限られた予算の中で四苦八苦している状況でもあるが、学校施設は、地域住民の生涯学習、文化、スポーツ活動の場であり地域コミュニティの拠点であるし、災害時の指定避難所として防災機能の場でもある。

トイレ整備の遅れが原因で子どもたちの健康状態が低下するようなことがあっては断じてならない。今後の最優先事項として、次年度でしっかり予算を増やし小中学校等のトイレ整備を進めるべきと考えるがどうか。

【教育局長】今後、学校の改修の機会を捉えてトイレ洋式化を進める可能性などについても、関係部局との協議を進め、早期に様式化を図るための計画へとつなげてまいりたい。

困った時は、まず区役所へ。

宮城野区役所(代表) 291-2111

子供家庭総合相談窓口…

宮城野区役所家庭健康課

宮城野区保健福祉センターの組織と相談…

家庭健康課(子ども、ひとり親家庭のことなど)

保護課(生活保護のことなど)

管理課(民生委員・児童委員のことなど)

保険年金課(国民健康保険、国民年金、医療費助成のことなど)

障害高齢課(高齢者、障がい者のこと)

衛生課(食品衛生、環境衛生のこと)



いじめ防止の緊急要望(9月14日)

本市として二度と痛ましい事件・事故が起きる事の無いよう、市議団として「いじめ防止対策に関する緊急要望書」を奥山市長に提出しました。

- スクールカウンセラーの設置・相談体制の点検・強化。
- 子どもの立場に立って様々な困難を解決するためのサポート体制である「スクールソーシャルワーカー」の配置強化。
- 「学校防犯まもらいだーの強化策」を緊急要望しました。



カーブミラーを4箇所設置

通学路等地元の皆様のご要望を受け新たに4基のカーブミラーを設置しました。

アシ☆スタ交流サロン開所式

(10月26日)

仙台市起業支援センター「アシ☆スタ」がAER7階にオープンしました。仙台で起業を目指す人たちがつながり、アイデアをビジネスへと成長させるための拠点としてつくられました。昨年5月に太白区東中田にドーナツカフェをオープンした「cafe nijineco」代表の佐々木まゆみさん(同姓同名です)らと。



地下鉄東西線視察(10月27日)

12月6日に開業の地下鉄東西線。開業にむけた現在の状況を視察しました。八木山動物園公園駅には、中央のエントランスにペンギンをはじめ様々な動物の足跡があり、皆様を迎えております。



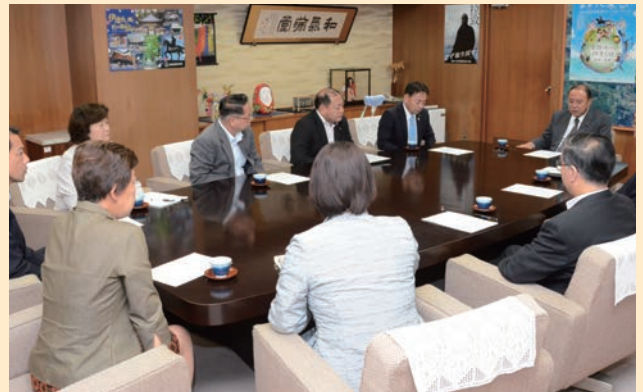
自転車安全利用教室

(10月27日)

自転車利用者の交通ルールとマナー意識の高揚を図るための教室に参加。プロのスタントマンが生徒の目の前で交通事故を再現し、事故の恐怖や衝撃を自分のこととして感じてもらう「スケアード・ストレイト」方式で行いました。

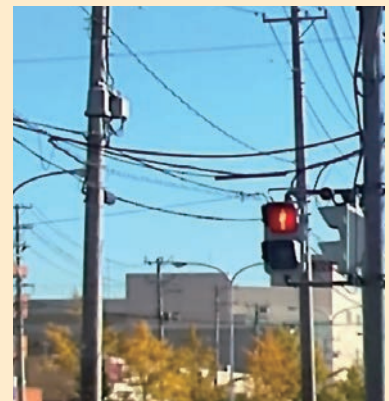


仙台駅東第二土地区画整理事業竣工式典(10月30日)



議会改革を申し入れ(9月14日)

開かれた議会を一層の努力で推進し、多くの市民に信頼され理解・関心が高まるよう、議長に対し「議会改革に関する申し入れ」をしました。



音響付き信号機の設置【幸町】

視覚障がい者の方からご相談を頂き、庄子けんいち県議と連携し、早々に設置となりました。来年度も更に整備されます。